

光を喰らう者

刈屋 佑奈

負けるもんか

リズムが乱れて言葉に詰まる

見るもの聞くものと正反対のものが積み重なっていく

心が反映された不完全燃焼が目の前に

歯がゆい思いに指を噛んだ

滲んだ血で描く現在という自分自身

向き合っても何も出ない

退屈だけが音を立てる世の中

捨ててしまえるほどしかない執着なら

興味なんて放り投げてしまえ

身の丈以上のものを書こうなんておこがましい

誰の為でもない、自分の為の言葉なら

等身大の手のひらサイズの幸せで我慢なさい

置かれた場所の不平不満をぶちまけるよりは

その誰にも負けない情熱で何よりも白い灰になりなさい

なりなさい

説教くさいのが嫌なのならば

悩まなければよろしい


もっともらしいことに反論したいなら

語ってみなさいな？

自分だけの真理とやらを

大した信念なんて無くても生きていける世の中を

わざわざ難儀なものを負って歩きたいのでしょうか？



頼りたく無いなら泣くな
切れそうなほどに張りつめているなら
優しくされるのだから辛いでしょうに
望みすぎるな
生き急ぐな
人生なんて長くも短くも無い
墓の中まで持っていけるものなんてありはしないんだ
それでも生きる意味を問うのなら
泥水すすっていきなさい
負けるもんかと呟きながら

勇気の歌

あきらめない

ただ一つの想いを胸に

声を振り絞って私は歌う

どこにも無いもの

それはあなたの想い

ここにしかない 一つしかない

願いを叶えられるのは自分しかない

心は自由だ

煽りを受けた感情は沈黙の中で飛翔する

紡がれた言葉が宙を舞う

夢に乗せた言葉

愛が描かれた歌

風に乗って伝染する熱があなたの元にも

足りないし尽きない

だから私は歌う

意味は無い

でもそれで救えるものがあつたら素敵だと思おう

私には伝えたいことがある

あなたには確かな想いがある

心躍るリズムに微笑んだ風

憎しみや悲しみが尽きる時が来ないなら

叫べ！！

あきらめない勇気の歌

喜びはきつと多くのものを連れてくる

歌うだけ

それだけで世界が変わったら絶対素敵だと思おう

清らなる雲

表出する怒りに目を瞑った

窓際には鬱陶しい低気圧

眠れない明け方に寝返りで唸る

手も足も出ない現実に負け惜しみの歌を

清らなる拳を探してひっくり返した箱の中

音をたてて零れた可能性の欠片たち

例えば

信じるだけで全てを決めることが出来るなら

綺麗事でも

私は優しさを信じたい

耐え難い嫌悪感に焼かれながらも

授かった命に感謝をしたいから

良心はどとかにある

誇りは必ずある

軽んずる心を無くせば世界は光で満ちる

理解を超えた繋がりの先に共存がある

雨上がりには虹が架かるように

青空に包まれている私達

夢想の狭間で心を詠んだ想い

無駄にしたく無い

響く雨足に清らなる拳を放つ

信じるのは優しさ

矛盾する感情を持って余しながらも私は歌う

負け惜しみでも信じる力は絶対 希望を生むから

あるがままの心で

あるがままの姿で

あなたの笑顔は輝くダイヤモンド

あなたの涙は輝く真珠

今もずっと頷いてくれている

いつもの輝きで

友よ

あなたの存在は大きな地球のように

私達を大きな愛で包んでくれた

幸せに 穏やかに

いつものように あるがままに

希望を紡ぐ永遠の羅針盤

ありがとう 行ってらっしゃい

又逢う日まで